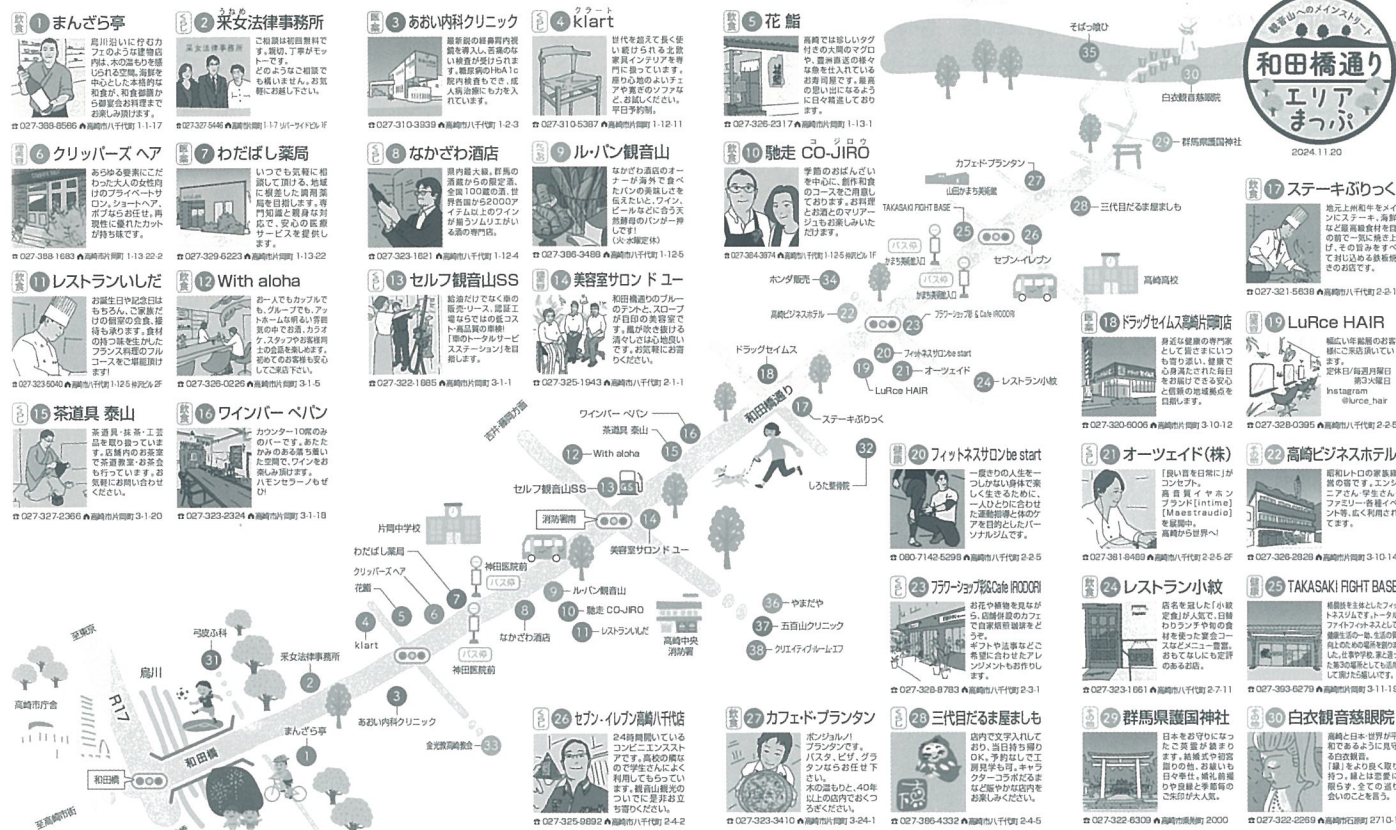


和田橋から護国神社・観音山に向かう「和田橋通り親交会」がこのほどエリアマップを作成。地域に新たなつながりと活気が生まれている。

若手が本気を出す 和田橋通り



和田橋通りのエリアマップ (中面)

清掃活動が起こした化学反応

まちづくりの中で、人と人のつながりや異業種の連携が大きな成果、新しい成果を生み出すことを「化学反応」と表現することがある。和田橋通り親交会では、朝の清掃活動が大きな化学反応を起こしている。

化学反応その1

親交会活動で若手が活躍

和田橋通りのエリアマップは、会員同士のコミュニケーションから生まれた。また、会員同士の連携にも広がりが見られている。エリアマップはオリジナルのイラストと心地よい色調により、印象的な仕上がりになっている。B4版じゃばら折りで会員各店で配布中。

和田橋通りは、烏川にかかる和田橋から観音山ふもとの護国神社までのまっすぐな通りで、和田橋通り親交会には沿道の約60店が加盟。親交会は和田橋通りにある店舗・事業所の発展と親睦、地域の安全安心、和田橋通りの街灯の維持管理などを目的に活動している。

2023（令和5）年7月に仲沢酒店の仲澤賢一さん（5頁・高崎人参照）が会長に就任したことをきっかけに、

若手を中心とした親交会づくりが進み、40代、50代中心の組織に一新。親交会の活動も見直した。

和田橋通りは、八千代町、片岡町、石原町などの住宅地を後背地に、幅広い業種が共栄している。和田橋通りが誕生した当時から営業するお店、通りの発展とともに開店したお店や新規出店者、ドラッグストアなどが所在し、カフェや美容室、広域から集客する専門店などブランド力を持っている。

仲澤さんは「和田橋通りには良いお店がたくさんあり、住みやすい環境で

す。エリアマップは通りのイメージアップや観音山の集客にもつながっていくと思います。和田橋通りの魅力をもっと広めていきたい」と話す。

化学反応その2

清掃活動が広げたコミュニケーション

エリアマップの製作は2024年6月の総会で決定し、11月に完成した。総会に臨むためには、実施内容を具体的に固めておくことが必要で、エリアマップ誕生のきっかけとなったのが、和田橋通りの清掃活動だったという。

「親睦旅行などが行われていたがコロナ禍で会員の考え方も変化したと思います」と仲澤さんは話

す。活動を見直す中で、会員同士のコミュニケーションを図るための取

り組みとして、和田橋通りの道路清

掃を開始し、春・秋の2回実施している。企業会員と



清掃活動の様子（2024年10月）

して親交会活動に参加する轟英治さん（みつわ運輸株式会社社長）はマップ製作に中心的に携わった一人で、「清掃活動を通じて会員同士が知り合いになりました」と話す。

清掃活動は、営業時間に支障が少ない土曜日の早朝に実施し、班ごとに分かれて担当のエリアを清掃してもらう。時間の都合で、今まで親交会の活動に参加しにくかった会員も顔を出してくるようになった。人の輪を広げてもうのために班分けを毎回変えているのが特徴で、自己紹介の交流タイムも設けた。雑草取りやごみ拾いを行いながら会話が弾み、ごみ袋20袋ほども集まるそうだ。

会員からは「地域がきれいになるのはとても気持ちがいいです。今まで話をしたことがなかった人と親しくなれるきっかけになりました。顔なじみになれば、話しやすくなり、地域のつながりが生まれます」と好評だ。また今回の取材の中で、轟さんに勧められて親交会に参加したという声は多かった。

轟さんは「清掃活動を通じて親交会の一体感が生まれた意義は大きいと思います」と話す。

に意欲的に参加してくれる会員が増えた。仲澤さんと轟さんは「それまで会員同士の交流が少なかったことで、私たち自身お互いのことをもっと知ろう、お客様にも和田橋通りのことをもっと知ってもらおうとマップづくりの計画が持ち上がりました」と振り返る。

化学反応その3

持ち味を生かしたマップづくり

マップのデザインは、親交会員「クリエティブ・ルーム・エフ」の高橋しゅんすけさんの力を借りた。高橋さんはホームページ制作、グラフィックデザインを行うクリエイターで、清掃活動を通じて交流を深めた一人だ。

このマップは、和田橋通りのイメージに合わせたデザインが決め手になっている。各店の店主や店内の様子、外観など、特徴をとらえたイラストとメッセージで和田橋通りを紹介している。店主の人物が伝わるイラストが高橋さんの腕の見せ所。写真から37点のイラストを描いた。このイラストがマップのコンセプトを表現し、完成度を高めている。

親交会員の数が多く、写真や文章を集めるのはやはり大変だったそうだ。

締め切りが迫ると役員がカメラを持って、会員のお店を回った。

「写真よりもイラストの方が本人の特徴を表している」と、高橋さんの描いたイラストは会員からとても好評で、自社のホームページに使いたいという会員もあったそうだ。

化学反応その4

●歩いて楽しむ和田橋通り

観音山のにぎわいづくりを視野に

親交会の会員同士の交流は、各店や地域の事業にも広がりつつある。観音山慈眼院での和文イベント「観翠会」、護国神社の管絃の夕べや新規イベントで連携協力が進んでいる。

各店の魅力をつないで歩いて楽しむ通りをめざしており、清掃活動は気持ちよく歩いてもらうための環境づくり、エリアマップは、回遊性創出の第一弾と言えます。



観音山の観翠会

ちよく歩いてもらうための環境づくり、エリアマップは、回遊性創出の第一弾と言えます。

和田橋通り親交会では、晩夏に観音山で行われる「万灯会」とも連動していきたいと考えており、会では「観音山頂の白衣大観音、ふもとの護国神社、和田橋通りをつなげていきたい」と意欲を見せている。

親交会・会員の声

■馳走 CO-JIRO



代表 小山 渉一さん
高崎市八千代町 1-12-5
仲沢ビル1階奥入る
TEL.027-384-3874

「マップはお客様に手に取ってもらえて評判がいいです」と馳走 CO-JIRO 代表の小山さんは話す。

馳走 CO-JIRO は昼・夜予約制で創作和食料理を提供するレストラン。仲沢酒店直営のベーカリーショップ「ル・パン観音山」と同じ仲沢ビルで営業している。



観音山へのアクセスルート
和田橋通り
エリアマップ

ただいています」とお店同士のつながりを生かしている。

晴美さんは慈眼院で和文を伝えるイベントの観翠会を開催するほか、護国神社の行事でも茶席を設けるなど、地域の活性化に尽力している。

■群馬県護国神社



権欄宜 石川 博邦さん
高崎市乗附町 2000
TEL.027-322-6309

群馬県護国神社はかつて高崎公園にあった英霊殿で行われていた招魂祭を継承し、1941（昭和16）年に創建され、明治維新から第二次世界大戦までの県内縁の戦没者をお祀りしている。

「立派なマップができたと思います。表紙に護国神社のイラストを使っていただきありがとうございます」と権欄宜の石川博邦さんは笑顔を見せる。マップを社務所前のカウンターに並べて置いたところ、正月の初詣で500部ほどはけてしまったそうだ。「たくさんの参拝

小山さんは富岡市で長く続いた和食店の3代目。仲澤さんが主宰するワインセミナーの受講者で、日本ソムリエ協会認定ソムリエ、酒ディプロマの資格を取得している。ワインセミナーを通じて仲澤さんと意気投合し、16年営業した富岡市から2023（令和5）

年5月5日に当地に移転した。店の営業形態も居酒屋から完全予約制の限定コース料理に思い切った変更し新たな挑戦となった。「店のロケーションに合わせた選択でした。わからないこともあり不安でしたが、親交会の活動を通じて、地域の方と顔見知りになりました。地域にあたたかく迎えていただき感謝しています」と話す。親交会が身近な相談相手になっており「フラワーショップ彩さん、泰山さんには親切にアドバイスをいただき、ありがとうございます。地元活動には積極的に参加していきたい。楽しいです」と話している。

仲沢ビルの2階には、仲澤さんのワインセミナーの受講者で、長く石原町で営業していたフレンチの名店「レストランいしだ（オーナーシェフ・石田博行さん）」が2023年10月に移転し

者に手にしていただくことができました」という。

石川さんは2006（平成18）年に、群馬県護国神社に奉職。2023（令和5）年からは和田橋通り親交会に父君と交替して参加した。コロナが5類に移行した時期で「親交会員の代替わりが進んでいて、会員の皆様と地域を活性化していきたいと考えました」と話す。

親交会に参加したメリットを石川さんはありがたく感じている。護国神社は初詣の駐車場不足対策として、神社近隣に臨時駐車場を設けているが、親交会の会員企業・店舗の協力を得られている。「朝の清掃活動に参加したこと



護国神社の節分行事

しており、ワインの楽しみを発信するエリアとして回遊性にも注目だ。小山さんは「和田橋通りは護国神社に向かってまっすぐの道で、夜景もとてもきれいなのでおすすめです」と話している。

■株式会社泰山



晴美さん（右）

代表取締役 井上 智太さん
（和田橋通り親交会副会長）
高崎市片岡町 3-1-20
プレステージ 101
TEL.027-327-2366

株式会社泰山は輪島塗専門店として1982（昭和57）年に伊勢崎市で初代井上博之さんが創業。まちの活気を求め、1984（昭和59）年に高崎市内横町に移転、1991（平成3）年に片岡町の現在地に移転し、漆器、茶道具、印傳を扱う。2020（令和2）年に二代目井上智太さんが社長に就任し、和田橋通り親交会に顔を出すようになったそうだ。「今までは街路灯の管理でしたが世代が交替し、みなで力を合わせていこうと雰囲気が変わりました」と感じている。

で、親交会員との交流が深まり、願いすることができました。快諾していただき、感謝の気持ちでいっぱいです」と話す。

群馬県護国神社では年間を通じて祭事が行われているが、2023年から7月に七夕まつり、今年2月には初の節分行事を開催した。七夕まつりではキッチンカーの出店やシャンソンコンサートも行い、内容も多彩になっている。「親交会の方にも参加していただき、泰山さんには茶席を設けていただいています。朝の清掃活動でお話できたことがきっかけです。親交会にもっと早く参加しておけばよかったと思います」と実感しているそうだ。

「会員同士の輪が広がる上で、少しずつできることをやっていければいいと思います。」

いきなり大きなことではなく、会員の皆さんの意見を尊重しながら形にして、それを継続させていければ素敵ですね。今まさに和田橋通りが活性化してきていると感じています。会としては勿論のことと単独イベントなど、神社での開催も大歓迎です」と手ごたえを感じているそうだ。



和田橋通り HP